

ICT活用工事（作業土工（床掘））積算要領

1. 適用範囲

本資料は、ICT施工において、3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術及び3次元マシンコントロール（バックホウ）技術を使用して、構造部の築造又は撤去を目的とした、土砂、岩塊・玉石の掘削等である床掘に適用する。

平均施工幅2m以上の土砂の掘削等である床掘のICT建設機械による施工の積算にあたっては、床掘り（ICT）の施工パッケージ型積算基準により行うこととする。

平均施工幅2m未満の土砂の掘削等である床掘の積算にあたっては、別紙-6「ICT活用工事（小規模土工）積算要領」によるものとする。

2. 機械経費

2-1 機械経費

床掘り（ICT）の積算で使用するICT建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。

なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、土木工事標準積算基準書の「第2章 工事費の積算」①直接工事費により算定するものとする。

作業土工（床掘り）（ICT）

ICT建設機械名	規格	機械経費	備考
バックホウ (クローラ型)	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)山積 0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料にて計上	ICT建設機械経費加算額は別途計上

※2-1機械経費のうち、賃料にて計上するICT施工対応型の機械経費には、地上の基準局・管理局以外の賃貸費用が含まれている。

2-2 ICT建設機械経費加算額

2-2-1 賃料加算額

ICT建設機械経費賃料加算額は、地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、2-1機械経費のうち賃料にて計上するICT建設機械に適用する。

なお、加算額は、以下のとおりとする。

(1) 作業土工（床掘り）（ICT）

対象建設機械：バックホウ（ICT施工対応型）

賃料加算額：13,000円/日

2-3 その他

ICT建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。

2-3-1 保守点検

ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。

(1) 床掘工 (ICT)

$$\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.05(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量(m}^3\text{)}}{\text{作業日当り標準作業量(m}^3\text{/日)}}$$

(注) 作業日当り標準作業量は「第I編第14章その他④作業日当り標準作業量」のICT標準作業量による。

(注) 施工数量は、ICT施工の数量とする。

2-3-2 システム初期費

ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

(1) 掘削(床掘り)(ICT)

対象建設機械：バックホウ

費用：598,000円/式

3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。

4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用

床掘工 (ICT) については、出来形管理を行わないため、費用は計上しない。

現 行	改 定								
<p>別紙-4</p> <p>ICT活用工事（作業土工（床掘））積算要領</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、ICT施工において、3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術及び3次元マシンコントロール（バックホウ）技術を使用して、構造部の築造又は撤去を目的とした、土砂、岩塊・玉石の掘削等である床掘に適用する。 平均施工幅2m以上の土砂の掘削等である床掘の積算にあたっては、施工パッケージ型積算基準により行うこととする。 平均施工幅2m未満の土砂の掘削等である床掘の積算にあたっては、別紙-6「ICT活用工事（小規模土工）積算要領」によるものとする。</p>	<p>別紙-4</p> <p>ICT活用工事（作業土工（床掘））積算要領</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、ICT施工において、3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術及び3次元マシンコントロール（バックホウ）技術を使用して、構造部の築造又は撤去を目的とした、土砂、岩塊・玉石の掘削等である床掘に適用する。 平均施工幅2m以上の土砂の掘削等である床掘のICT建設機械による施工の積算にあたっては、床掘り（ICT）の施工パッケージ型積算基準により行うこととする。 平均施工幅2m未満の土砂の掘削等である床掘の積算にあたっては、別紙-6「ICT活用工事（小規模土工）積算要領」によるものとする。</p> <p>2. 機械経費 2-1 機械経費 床掘り（ICT）の積算で使用するICT建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、土木工事標準積算基準書の「第2章 工事費の積算」①直接工事費により算定するものとする。 作業土工（床掘り）（ICT）</p> <table border="1" data-bbox="810 1137 1013 1422"> <thead> <tr> <th>ICT建設機械名</th> <th>規格</th> <th>機械経費</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）</td> <td>標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9t</td> <td>賃料にて計上</td> <td>ICT建設機械経費加算額は別途計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2-1 機械経費のうち、賃料にて計上するICT施工対応型の機械経費には、地上の基準局・管理局以外の賃貸費用が含まれている。</p> <p>2-2 ICT建設機械経費加算額 2-2-1 賃料加算額 ICT建設機械経費賃料加算額は、地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、2-1 機械経費のうち賃料にて計上するICT建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 (1) 作業土工（床掘り）（ICT） 対象建設機械：バックホウ（ICT施工対応型） 賃料加算額：13,000円/日</p> <p>2-3 その他 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。</p>	ICT建設機械名	規格	機械経費	備考	バックホウ（クローラ型）	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料にて計上	ICT建設機械経費加算額は別途計上
ICT建設機械名	規格	機械経費	備考						
バックホウ（クローラ型）	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料にて計上	ICT建設機械経費加算額は別途計上						

現 行	改 定
	<p>2-3-1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。</p> <p>(1) 床掘工 (ICT)</p> $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.05 (\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量(m}^3\text{)}}{\text{作業日当り標準作業量 (m}^3\text{/日)}}$ <p>(注) 作業日当り標準作業量は「第I編第14章その他③作業日当り標準作業量」のICT標準作業量による。 (注) 施工数量は、ICT施工の数量とする。</p> <p>2-3-2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。</p> <p>(1) 掘削 (床掘り) (ICT) 対象建設機械：バックホウ 費用：598,000円/式</p> <p>3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。</p> <p>4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 床掘工 (ICT) については、出来形管理を行わないため、費用は計上しない。</p>